



2024年2月
JEIU
No.1203
電機連合
ELECTRONIC ELECTRICITY

行こう
みんなで
つなぐ
未来へ
The future to
tie it together

第110回 中央委員会 報告

2024年 総合労働条件改善闘争

2024年1月1日午後発生した能登半島を震源とする「令和6年能登半島地震」にて、亡くなられた方々への哀悼の誠を捧げます。

被災された方々に心からお見舞いを申し上げますとともに、一日も早い復旧・復興をお祈りいたします。

電機連合として被災された皆様に寄り添った支援を進めてまいります。



委員長あいさつ要旨

社会的波及と好循環に向けた大きな一歩を

2024年総合労働条件改善闘争について

2023年闘争では30年ぶりに高水準の賃金水準の改善を実現することができた。一方で、近年の物価上昇に賃上げが追いつかず、実質賃金は20ヵ月連続で低下し、日本の賃金水準は、OECDの中で低水準にとどまっている。

今次交渉の基本方針「積極的な『人への投資』により実質賃金の向上を図るとともに、経済の好循環への転換を着実なものとする」に沿って、すべての労働者への社会的な波及と経済の好循環に向けて、昨年を上回る積極的な賃金水準の引き上げに取り組んでいかなければならない。

賃金水準引き上げの波及効果を最大化するためには価格転嫁の取り組みが重要となる。

労務費を含む価格転嫁は、いまだに多くの企業が転嫁できずに苦しんでいるのが実態ではないか。労務費の価格転嫁を実現してこそ、企業収益の改善、賃金水準の改善につ

ながる。公正取引委員会の指針に基づいて適正な価格交渉が行われるよう、周知、実態調査、産業や企業への要請など、波及効果の最大化に向けて取り組んでいく。

交渉は賃金水準改善のみならず、一時金、労働協約関連の取り組みも、誰もが活躍できる職場環境整備として欠かせない。今次交渉でも、働き方改革、リスクリングを含むキャリア形成支援、ジェンダー平等の実現、障がい児等をもつ家族などの個別事情をふまえた対応、ヘルスリテラシー向上にも取り組む。

政策・制度実現に向けて

深刻な社会課題が山積している中、政治が果たすべき役割と責任は大きい。政治とカネの問題によって、国民の政治に対する信頼は失墜している。

正直で健全な政治のためにも現場の声を届けられる議員を国会に、地方議会に、送り込まなくてはならない。政治活動の日常化を一層強化するとともに、来たる国政選挙や地方自治体選挙に向けて、組織の総力を挙げて取り組んでいく。

また、政策策定機能と政策実行機能の強化に向けて、新たなフォーラム「電機産業の未来を考える会」を今回発足する。電機連合が掲げる政策・制度の実現に向けて、フォーラム議員とともに取り組む。

おわりに

電機連合結成70周年という節目の年を迎え、電機連合は次の時代に向けて大きく転換していく時期と考える。新たな時代に相応しい労働組合を皆さんとともに築き上げていく。



中央執行委員長 神保 政史



第110回中央委員会

すべての議案を可決・承認

～電機連合一丸となり2023年を上回る結果を～

電機連合は、2024年1月25日に第110回中央委員会を東京の有楽町朝日ホールで開催しました。

第1号議案「加盟組合承認等に関する件」では、2組合が電機連合本部に直加盟しました。また、一括加盟組織においても組織拡大や新規加盟により、多くの仲間が加わりました。

第2号議案「2024年総合労働条件改善闘争に関する件」においては、本部提案に対し8名の中央委員から賛成の立場でご意見をいただき、本部答弁ののち圧倒的多数で可決されました。



*開会に先立ち、「令和6年能登半島地震」でお亡くなりになられた方々のご冥福を祈り、黙祷を捧げました。



ヤマハグループ労連 東芝グループ連合 第一電子工業労働組合
清州 まどか 中央委員 丸山 宗心 中央委員 松本 靖弘 中央委員

来賓の方々



金属労協
金子 晃浩 議長



国民民主党
玉木 雄一郎 代表



電機連合政治顧問
浅野 さとし 衆議院議員

第1号議案 加盟組合承認等に関する件

2組合の新規本部直加盟が承認されました。また、9組合の一括加盟組織への加盟などが承認され、多くの仲間が加わりました。

新規本部直加盟の皆さん



PEO労働組合



亀田 恭宏 委員長



JSファンダリ労働組合



山崎 雅彦 委員長

一括加盟組織へ加盟された皆さん



向かって左から

旭鍍金労働組合
山陰三菱電機機器販売労働組合
遠藤製作所労働組合
パナソニックエレクトリックワークス紀南電工労働組合
日立Astemo上田労働組合
三菱電機インダストリアルソリューションズ労働組合
パナソニック コネクト労働組合
UMC・Hエレクトロニクス労働組合
オムロンエクスパートリンク労働組合

前川 幸治 委員長
曾田 翔哉 委員長
岡田 裕也 委員長
川原田 竜太 委員長
翠川 正樹 委員長
林 貴博 委員長
山崎 功 委員長
堀澤 守 委員長
片桐 歩 委員長



ニデックテクノモータ小浜労働組合
中島 維 中央委員

経過報告

「地協におけるジェンダー平等推進のための活動方針」について、ニデックテクノモータ小浜労働組合・中島中央委員より「ジェンダー平等として女性が働きやすい職場をめざすことに同意するが、そもそも活動スタイルに課題があるのではないか。本方針は義務化されるものなのか」と質問・意見をいただきました。

山中書記次長から「方針は義務化するものではない。女性の労組活動への参画にはまだ課題があり、いただいたご意見をふまえて活動を前進させていくことが重要だ」と、答弁がありました。

中央委員からの意見・要望



浅田 和宏 中央委員(三菱電機労連)

今次闘争では、デフレマインドを完全に払拭し、賃金と物価の好循環を確実なものにすることで、実質賃金の向上・デフレ経済からの完全脱却を図りたい。継続した賃上げを行うことと、物価上昇を上回るペースアップを実現しなければならない。

そのためには価格転嫁がポイントとなる。大手企業は率先して関係顧客や市場に対して価格転嫁を行い、中堅・中小企業が原材料費・労務費の上昇分を確実に価格転嫁できるようにする責務が求められている。また、グループ企業間での取り引きも忘れてはならない。しっかりと対応しているか確認が必要である。古い商習慣から脱却し、付加価値をサプライチェーン全体で共有し、適正な循環を定着させていくことが重要である。



荒井 聡 中央委員(東芝グループ連合)

年明けから政労使が賃上げに向けて同じ方向を向いて発言をしており、我々を取り巻く環境が大きく変わったと認識している。労使共通認識として今回の交渉にあたっていきたい。しかし労使によっては交渉が難しい側面もある。電機連合本部の支援をお願いしたい。

昨年、日本が物価上昇に耐えられたのは、国民がエネルギー等の価格上昇を理解し、値上げを受け止めることができたからではないか。近い将来、労働者全員の賃金が上がっているから、物価も上がるものだ、と社会全体が認識できるように取り組んでいきたい。そのためにはデフレマインドから脱却し、日本経済を成長させるためには、大前提として労務費を価格に反映させることが重要である。闘争期間のみならず、価格転嫁が実行できるよう検証と引き続きの働きかけをお願いする。



下村 敬貴 中央委員(山洋電気労働組合)

今次闘争では拡大中闘組合が減り16組織の本部提案である。闘争を中闘、拡大中闘、地闘へと浸透させていく波及こそ電機連合統一闘争の核である。多くの地闘組合は中闘のみならず、拡大中闘組合の情報共有を受け闘争を進めている。拡大中闘組合について検証を行い、波及効果につながるよう闘争組織の拡充をお願いする。

価格転嫁を進めるにあたり企業業績・状況を課題とする労組も多い。人件費の上昇・原材料費の高騰に対して、価格転嫁の可否が企業業績への大きな要因となる。各労組はこれまで経験のない高い要求について、不安や心配があると思う。価格転嫁が確実に図られるよう、電機連合にはあらゆるチャネルを通じて働きかけをお願いする。



半沢 美幸 中央委員(日立グループ連合)

昨年、私たちは強い決意をもって交渉に臨み、約30年ぶりの高水準で決着した。しかし予想を超える物価上昇により実質賃金は向上せず、国際的にも劣後の状況である。デフレ脱却や経済の好循環は、労働組合として長年主張し、さまざまな交渉を重ねてきたが、ようやく政労使が一定の認識の一致を見せてきた。今年は経営側の思いや価格転嫁の取り組みなど、政策的な後押しを十分に活用しながら、昨年を上回る水準で継続的な賃上げを実現できるよう皆さんとともに闘いたい。

また、日頃から浅野さとしへのご支援に感謝を申し上げる。国民の政治への信頼が大きく低下している今、今後もさまざまな面で風当たりが強くなることが予想されるが、来たる衆議院議員選挙を引き続き皆さんとともに取り組んでいきたい。次回参議院議員選挙の候補者擁立がなかなか前に進んでいないが、電機連合も我々も諦めず、このことに取り組まなければならない。



福澤 邦治 中央委員(パナソニックグループ労連)

今次闘争の取り組み結果が、日本の将来の分岐点になる重要な年ではないか。働く人の知恵や工夫が、企業の競争力の源泉である。すなわち「人は資本」であると訴え、個人や企業、そして社会が持続的に成長できる社会をめざす闘争にしなければいけない。

電機加盟組合が結束して2024年闘争に取り組むためには、労務費を含む価格転嫁を行い、社会全体で進めることがポイントになる。実態調査や交渉環境の整備など電機連合本部によるバックアップをお願いする。

交渉中において顕在化する課題について速やかに協議し対応いただくこと、構成組合との十分な論議を経て、これからの闘争に反映することが、産業の魅力を高め、社会に影響力を発揮する統一闘争になる。電機連合本部には、合意形成など力強いリードをお願いする。



松尾 剛志 中央委員(全富士通労連)

昨年の交渉の結果、30年ぶりに高水準の賃上げを実現できたものの、物価上昇が続く影響から依然として実質賃金は低下している。そうした背景から、日本全体で昨年以上に賃上げの機運が高まっているが、一方で地政学的リスク、世界経済の減速懸念など外的な不安要素も多く、決して楽観できるものではない。

今次闘争の賃金水準改善額の要求は、昨年要求を大きく上回る、私たちも経験したことのない要求額であるが、経済の好循環への転換、人への投資の一層の強化を図るため、また来年以降の継続した賃金水準改善につなげるために、電機連合全体で産別統一闘争を推進し、確かな回答を得なければならない。

全富士通労連として、組合員の生活を安定させることはもちろんのこと、企業が成長するためには、そこに働く一人ひとりの働きがい、モチベーションの向上や、優秀な人材の確保が不可欠であることを強調し、労使双方が共通の認識に立つよう交渉を進めていく。交渉の推進にあたっては、従来以上に電機連合本部、各加盟組合と連携を強めていくことが何よりも肝要であり、電機連合本部のリーダーシップの発揮をお願いする。



塩田 明 中央委員(NECグループ連合)

業績などの裏付けがない賃上げは早晩限界が訪れ、持続可能な取り組みにならない。生産性向上による業績向上と人件費の増加をとともに実現するという健全な成長による賃上げが重要になる。加えて、労務費の価格転嫁の妥当性と協議の必要性に対する理解を社会に広めていくことが必要。価格転嫁の調査は今次闘争だけでなく、今後の政党・省庁などの協議にも活用し、日本の商慣行を変えるきっかけにしてほしい。

環境変化が激しく、さまざまなスキルや能力が変化するスピードが速い電機産業においては、リスキリングを含むキャリア形成は非常に重要である。しかし、大手は取り組む余力があっても、中堅・中小では難しいのではないかと。政策制度や行政への働きかけなど環境整備や推進役として産別への期待は大きく、引き続きの取り組みをお願いする。



丸山 淳平 中央委員(さくらケーシーエスユニオン)

ソフトウェア会社など、コストにおける労務費の割合が高い企業にとって、賃金要求額はインパクトのある数字であり、労務費の価格転嫁は重要だと考える。しかし、これまでも付加価値の適正分配など、会社に訴えてきたが難しい側面があった。

2024年闘争からは、労働組合と会社側が知恵を絞り出し合い、一緒に賃上げを実現しようという取り組みにしなければならない。そのためには、今回の労務費の価格転嫁は確実に実現しなければならない。電機連合には、労務費の価格転嫁が日本の賃金水準を引き上げるためにいかに重要なかをメディア等を通して主張していただきたい。「労務費の価格転嫁」、短い言葉だが、小さな1歩が偉大な1歩になるように我々も頑張っていく。



本部答弁

中澤 清孝 書記長

能登半島地震について電機連合に対策本部を設置し、さまざまな情報発信とともに緊急カンパの取り組みなどをすすめている。ボランティアなど中期的な支援が必要になる。今後、皆さんとともに復興支援に取り組んでいきたい。引き続きのご協力をお願いする。



▶ 春季交渉全般について

賃金水準改善を電機大手だけではなく、中堅・中小まで確実に波及させることが重要だ。今次交渉はデフレマインドを脱却し、賃金と物価が持続的かつ緩やかに上昇する健全なサイクルに変えていく重要な分水嶺だと考えている。しかし、13,000円以上という要求額は経験したことがない高い要求水準でもあり、現場の個別労使においては交渉の難しさもあるだろう。電機連合としてもしっかりと加盟組合に向き合って支援をする。

キャリア形成支援が進むよう各労使での取り組みをお願いしている。中堅・中小においては、例えばeラーニング支援など、政策・制度的な対応が必要だと考えている。

▶ 価格転嫁について

昨年11月、中小企業庁の情報や公正取引委員会から発信された「労務費の適切な転嫁のための価格転嫁に関する指針」について、しっかりと加盟組合に周知していきたい。また現在実施している電機連合の調査結果をふまえ、価格転嫁に関する現場実態や課題等について政党、省庁、経営側に伝え改善につなげていきたい。

▶ 国政選挙について

衆議院議員「浅野さとし」の3期目の活躍をめざして、出身組織・地協・北関東ブロックのみならず、電機連合全体で取り組んでいく。参議院議員選挙について、電機連合本部としても候補者擁立に向けて全力で取り組んでいく。

▶ 闘争体制について

中闘が回答を引き出し、拡大中闘、地闘・地区闘に波及していくことが統一闘争の特徴の一つである。波及効果が最大化となるように、今回は拡大中闘について見直しを行った。闘争体制は中央委員会での確認である。波及効果が高まるよう体制について検討し提案したい。

本部総括

神保 政史 中央執行委員長

賃上げの機運が高まったといっても、それぞれの労使においての交渉には厳しい状況が待っている。電機連合として精一杯サポートしていく。また、この統一闘争の結果を社会全体に波及させ、好循環に向けた大きな一歩としていきたい。そして賃上げ交渉は今年だけで終わらせるのではなく、次年度以降も継続して全力で取り組んでいきたい。



司会：国分 中央執行委員



第3号議案 第50回衆議院議員選挙の取り組みに関する件

第3号議案で「浅野さとし」組織内公認候補の擁立について追認されました。また、浅野さとし政治顧問からごあいさつをいただきました。

浅野さとし政治顧問あいさつ

電機連合は今、政治活動の日常化に重点的に取り組んでいます。ただ、急に「政治に関心を持とう」と言われても、なかなか関心が高まらないのも現実だと思います。

政治を身近に感じる一例をあげると、私は国会で自動運転についての法改正に関わりました。これまで規制されていたこの法律が改正され、今では1,000億円を超える市場規模にも成長しました。こうした法改正により、仕事内容が変わった組合員さんも沢山いらっしゃるのではないのでしょうか。このように政治により、皆さんの仕事や生活の変化を感じてもらい、理解者を増やすことで政治の日常化を前進させていければと思っています。

また、電機産業が安定して生産活動、事業活動を行う環境を守っていく「経済安全保障」も今国会のメインテーマの1つです。国会に現場の声を伝えるためにも、組合員の皆様からのご意見をお願いします。

引き続き、皆様の代表として国会で議論し続けるためにも、必ず3期目も小選挙区当選を果たせるように頑張ってまいります。



「電機産業の未来を考える会」発足

～政策実現へ。電機産業で働く仲間のために～

電機連合の政策・制度要求の実現力をさらに高めるために、連携を密にできる現職国会議員および総支部長（候補予定者）との新たな政策フォーラム「電機産業の未来を考える会」を発足し、中央委員会閉会後に会員紹介を行いました。

当日、出席いただいた会員からは壇上にて、残念ながら欠席となった会員からはビデオメッセージにてご挨拶をいただきました。

「電機産業の未来を考える会」は、電機連合の基本理念「美しい地球、幸せな暮らし」に則り、電機産業がもつ技術を活用し、社会を豊かにしていくための取り組みについて考え、政策提言につなげていきます。



浅野 さとし
衆議院議員
(茨城5区)



玉木 雄一郎
衆議院議員
(香川2区)



古川 元久
衆議院議員
(愛知2区)



榛葉 賀津也
参議院議員
(静岡選挙区)



大塚 耕平
参議院議員
(愛知選挙区)



伊藤 孝恵
参議院議員
(愛知選挙区)



深作 ヘスス
神奈川19区
総支部長



平戸 航太
千葉7区
総支部長

特報 マンガ始めます!

電機連合の政策制度の
取り組みって何?

なぜ労働組合が
政治活動をやるの?

組織内議員って
どんな仕事を
しているの?

—そんな疑問、ありませんか?

電機連合の政策制度の取り組みの意義や内容に
ついて、よりわかりやすく紹介するため…

2024年4月号から
マンガ

日々是政日

ひびこせ!

HIBIKORESEIJITSU

がスタートします。

ご期待ください。

女性専用健康相談サービス

原則事前予約

平日 9:00-17:00

2024年2月1日よりけんこう共済・けんこう共済アシスト加入者向けの「緊急医療相談ダイヤル」に「女性専用健康相談サービス」を新たに追加!

女性を取り巻く社会環境も大きく変化しライフスタイルも多様化しており、現代の女性ならではの健康に関するお悩み、人には言いにくい症状などについて、臨床経験豊富な女性の看護師が丁寧にわかりやすくアドバイスします。対処の仕方や受診すべきかなど、お気軽にご相談ください。

お問合せはご所属の労働組合へ

電機連合福祉共済センター／代理店マックス <https://kyosai.jei.or.jp/>



使わなくなった
ランドセルは
ありませんか?

アフガニスタンの 子どもたちに ランドセルを贈ろう!



～電機連合SAKURAプロジェクト～

お子さんの6年間の思い出が詰まったランドセルが
今度はアフガニスタンの子どもたちの就学のきっかけに!
詳しくはご所属の労働組合へお問い合わせください。

ランドセル収集期間: 2024年3月8日(金)～5月17日(金)



※未使用のノート、鉛筆、消しゴム、
鉛筆削り、色鉛筆、ボールペンが
あれば、あわせてランドセルに
お入れください。

SAKURAの
動画です。
組合員へのPRに
ご活用下さい。



Let's★脳トレーニング

多忙な毎日からちょっと離れて、クイズで一息ついてみませんか?

Q 例を参考に、スタートからゴールまで、
イラストの生き物の名前ですりとりを
しながら道をたどって縦と横に進みま
しょう。道が無いので斜めには進めま
せん。最後の文字が伸ばし棒で終わ
る場合は、1つ前の文字ですりとりをし
ます。

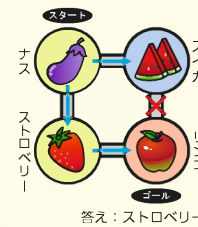
さて、7番目に通る生き
物の名前は何でしょう?



答え

難易度

例 問題: 2番目に通った
食べ物の名前は?



答え: ストロベリー



- 応募方法 左記QRか公式サイト(<https://www.jei.or.jp/>)からご応募ください。
公式サイトからのクイズ応募の際はパスワード「mar22」を入力してください。
- 締め切り 2024年3月22日(金)
- No.1201の答え 16
- 当選者発表 応募総数は、470通でした。当選の発表は賞品の発送をもって
かえさせていただきます。おめでとうございます。



クイズ正解者の方から抽選でプレゼント



ネック
スピーカー
1名様
※色は選べ
ません

QUOカード
19名様

